

2023年10月26日

令和四年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式(グレナダ)

2023年10月26日(木)、グレナダ・モーン・ルージュの貿易センター別館において、草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)「グレース・トレーニング資格センター拡張計画」の署名式が行われました。

この案件ではグレース・トレーニング資格センターの職業訓練受講生の増員及び訓練コースの増設を行うため、新たに校舎を建設します。これにより、グレナダの若者への職業訓練及びスキルアップへの機会の増加及び教育の質の向上を目指します。

署名式には、松原裕日本国大使、アンディ・ウィリアムズ資源動員・実施・改革大臣、ビバリー・グレイ・グレース・トレーニング資格センター代表、ズロバーツ教育省最高教育責任者およびその他の関係者が出席しました。

日本政府の代表として松原大使、被供与団体の代表としてグレイ代表が贈与契約に署名しました。

松原大使は、日本政府は長年にわたり無償資金協力や技術協力を通じてグレナダの経済社会発展を支援し、グレナダ政府及び国民と協働してきたこと、また今回の式典が草の根無償による30件目のプロジェクトとなる旨を述べ、このプロジェクトが生産的で公正、公平な社会を築くために不可欠な要素である国連の持続可能な開発目標4「質の高い教育」及び8「働きがいのある仕事と経済成長」への具体的な取り組みとなることを強調しました。プロジェクトが成功裡に完了し、日本とグレナダの新たな実りある協力となることへの期待を表明するとともに、2025年が両国外交関係樹立50周年であることを出席者に呼びかけました。

グレイ代表は、同団体のこれまでの歴史、築いてきた実績、受賞歴、取り組んできた課題につき出席者に紹介し、今回のような稀有な機会及び地域の人々の発展に向けられた資金供与に対し最大限の感謝の意を表しました。

アンドリュー・ウィリアム教育省大臣の代理として出席した、ズロバーツ教育省最高教育責任者は、人的資本の開発に対する教育省の使命とビジョンは単独では達成できず、多くの関係機関と協力体制を気付いて取り組んでいくことが不可欠だと述べました。同氏は被供与団体に対し、人々のスキルアップを奨励するとともに、社会の需要と現時点の人々の能力の差を埋め、今後発展性のある未開発市場を開拓できるようなコースの多様化を推進するよう要請し、最後に日本政府と国民からのこの支援が広範囲に影響を与え続けていることに言及し、スピーチを締めくくりました。

センターの最初の卒業生であったアン・マリー・モントローズ氏は、自分のキャリア形成に関し、センターで優秀な成績を収めた後、カリブ地域中等教育証明書及び大学の学位を取得し、現在はセンターで講師を務めており、このことが自分の最も誇らしい業績だと述べました。最後に、センターの講師ら及び国造り支援の目的でグレナダ政府と提携した日本政府にも感謝の意を表しました。

日本政府は、カリブ諸国の安定と繁栄のため、防災、環境、エネルギー、廃棄物管理、教育、水産業等の様々な分野における支援を継続し、カリブ諸国との協力的かつ友好的な関係を更に発展させていきます。

(了)



ビバリー・グレイ・グレース・トレーニング資格センター代表によるスピーチ



左からカーベル・レット内閣秘書官、アンディ・ウィリアムズ資源動員・実施・改革大臣、松原裕大使、ビバリー・グレイ・グレース・トレーニング資格センター代表



松原裕大使によるスピーチ



贈与契約の署名

For further information, please contact:
Economic Affairs and Development Cooperation Section
Embassy of Japan in Trinidad and Tobago
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 219/234
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

